

「やる気」伸ばす工夫を

で講師をしていた高浜代表は、伸び悩む子の共通点を見つけた。指示には従うが、意欲が感じられず、計算は早くても応用問題は考えるのをやめてしまふ。幼いころ、親に「何回言えは分かるのよ」と言われたり、無理やりの習い事をさせられた記憶を持つ子が多かった。

数でも文字でも、生活や遊びの中で覚えてこそ身につく。強制すれば子どもは意欲を失う、と高い代表は考える。保護者

向きの教室では「意識を変えて」と呼びかける。日本の子どもの学習意欲は「世界最低」と言われる。他国と比べて「勉強が好き」という子の割合が低く、学校外の勉強時間が短いと、何年も前から指摘されてきた。子どもの意欲を引き出す技術を身につけるための研修を教師に受けさせてはどうか。公立の学校に頑張っている」と願う高浜代表の提案だ。

＝つづく

ご意見や情報を〒100-8051(住所不要)毎日新聞教育取材班にお寄せ下さい。ファクスは03・3212・0005、メールアドレスはskyouiku@mbx.mainichi.co.jp.jp。